

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	悩みに対する専門的な相談体制の整備	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部局庁	職業安定局	担当課室	若年者雇用対策室	若年者雇用対策室長		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若年求職者の中には人間関係などの要因により離職した者や、就職活動に自信がないなど不安や悩みなどを抱える者も多く見られるところであり、その就職の促進を図るためには就業に関わって心理的な面も含めてよりきめ細かく専門的相談を行なうことにより、これらの若者の就職における様々な悩みが解消され、就職に結びつく具体的な行動がとれるようにすることにより就職の実現を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域における精神保健福祉機関、学校等関係機関とも連携しつつ、就職を希望しながら心理面を含めた悩みや不安を抱えるフリーター層、早期離職者等を含めた若年求職者を対象にそれぞれ個々人の課題に応じた個別的、専門的な相談サービスを提供し、若年求職者の就職促進を図ること。					
実施状況	相談件数 34,615件【平成20年度】					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	373	324	141		
	執行額	234	233	116		
	執行率	62.7%	71.9%	82.3%		
	総事業費(執行ベース)	234	233	116		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	労働局からの定期的な報告等により実績の把握を行っており、実績に基づく適切な運用を行っている。				
	見直しの余地	平成21年度限りで廃止済。				
予算監視の・所見率化	本事業の目的は概ね達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止。					
補記						

厚生労働省
116百万円

【予算示達】

A.都道府県労働局(47局)
116百万円

臨床心理士等への謝金等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.都道府県労働局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	臨床心理士等への謝金等	116			
計		116	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)